

①学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く」（P36～P39）を読んで、身近な事柄についての説明文を書き、書いた内容を家の人に伝えよう。（2週継続）

<取り組み方>

- ① 教科書を読み、説明したい事柄と説明する目的、相手を決めよう。
 - ・事柄の例 家族、ペット、大切にしている物、習いごと、近所の公園など
 - ・目的の例 私のことをもっとよく知ってもらいたい。
家族のよいところを知ってもらいたい。
近所の公園について知ってもらい、もっと利用してもらいたい。
 - ・相手の例 級友、家族、近所の人
 - ② 選んだ事柄について、説明する内容として、どんな観点が考えられるか情報を書き出してみよう。
 - ・教科書 P37「マッピングの例」や P286「いろいろな発想方法」を参考にしてみよう。
 - ③ ②で書き出した情報について、観点ごとに表の形式で整理してみよう。
 - ・P38「観点ごとにまとめた例」を参考にしてみよう。
- ※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「役立つリンク集」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【社会】

<内容>

日本の国土や領域^{りょういき}にはどのような特色があるだろうか？取組シートやノートにまとめよう。

<取り組み方>

- (1) 日本の国土の特徴について、自分が知っていることを踏まえながら、教科書 P128 を参考にしてまとめましょう。そのとき、地図を用いて領土や領海の広がりについて表現してもよいですね。
- (2) 「領域」とはどのようなことを指す^さのでしょうか。教科書 P129 を見ながら整理しましょう。
- (3) 教科書 P130～P131 の本文や地図を参考に、日本固有^{こゆう}の領土である北方領土や竹島、尖閣諸島^{せんかく}について、それぞれ調べ、整理しましょう。

<学習のヒント>

- (1) 日本の国土の広がりや国土の自然^{ちやくもく}に着目^{ちやくもく}してみましよう。
- (2) 日本の領域の範囲^ふの変化についても触れてみましよう。
- (3) 北方領土や竹島、尖閣諸島^{せんかく}の位置や歴史的な経緯^{けいゐ}に着目^{ちやくもく}してみましよう。

◆「平和へのメッセージ」を募集^{ぼしゅう}しています。

札幌市では、現在、平和への思いを込めたメッセージ（絵や詩）を募集しています。自分が考える平和について表現してみませんか。応募^{おうぼ}チラシや応募用紙が、下のホームページアドレスや右のQRコードから見るができますので、興味をもったあなたは、ぜひ挑戦してみてください。

☞ <http://www.city.sapporo.jp/shimin/heiwa/koryu.html>



【数学】

<内容>

正、負の数の乗法について考えよう。

～積の符号にはどんな特徴があるかな？～

<取り組み方>

- ① 教科書 P36 のQの(1)・(2)に取り組み、数直線を使ってかけ算の式とその結果を考えてみよう。また、5分後、10分前にはどの地点にいるか数直線を使って考え、その地点を式で表してみよう。
- ② 教科書 P37 のQの(1)・(2)を①と同じように考えてみよう。また、5分後、10分前にはどの地点にいるか数直線を使って考え、その地点を式で表してみよう。
- ③ ①、②を見比べてみて、正、負の数の乗法では、積の符号や絶対値は、かけあわせる2数の符号や絶対値とどんな関係があるか、気付いたことを、「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ④ 次の計算をしましょう。
ア： $(+1) \times (+1)$
イ： $(+1) \times (+1) \times (-1)$
ウ： $(+1) \times (+1) \times (-1) \times (-1)$
エ： $(+1) \times (+1) \times (-1) \times (-1) \times (-1)$
また、積の符号について気付いたことを、「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

<学習のヒント>

- ① 東の方向を正の向き（教科書 P17 に書かれています）、「1分後」を「+1分」と表すと「東に向かって分速70m」や「1分前」はそれぞれ正、負の符号を使ってどのように表すことができるかな。また、地点を表す式は、小学校の時に学習した（速さ） \times （時間）＝（道のり）の関係に当てはめてみよう。
- ② 東の方向を正の向きとすると「西に向かって分速70m」を正、負の符号を使って表すとどのように表すことができるかな。
- ③ かけ合わせる2数の符号や絶対値と積の符号や絶対値の規則性について、教科書 P38 の「重要」を参考にして自分なりに整理してみよう。
- ④ かけ合わせる数が3つ以上となったときは、どうすれば計算できるかな。2つの場合は、③で整理したので、それを使って考えられないかな。
かけ合わせる負の数の個数と積の符号にはどのような規則性があるかな。



【理科】

<内容>

◆10円玉5枚の体積を測る方法を考えよう。

<取り組み方>

- ① 教科書 P132 を参考に、メスシリンダーの使い方をまとめてみましょう。
- ② 教科書 P130 の図 10 を参考に、メスシリンダーを使って 10 円玉 5 枚の体積を測る方法を図や言葉を用いてまとめてみましょう。

<学習のヒント>

- ・メスシリンダーの使い方については、教科書 P255 も参考になります。
- ・水を入れた容器に 10 円玉を入れてみるなど、実際に家で試してみて、イメージをつかんでみるのも良いでしょう。

【英語】

<内容>

- ・教科書 P14・15 の「アルファベットになれよう」を見て、アルファベットを何度も発音してみましょう。

<取り組み方>

2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。



★動画を見ながら取り組む課題です。

- (1) ALT の先生の後に続いて、アルファベットを発音しましょう。ALT の先生の口元をよく見て、真似するように発音してみましょう。
- (2) 次は、ALT の先生が示すアルファベットを、あなたが先に発音してみましょう。
- (3) 最後に、ALT の先生が示すアルファベットを発音してみましょう。順番が変わります。

★動画を見ないで取り組むことができる課題です。

- (1) 教科書 P14・15 のアルファベット大文字と小文字を見て、順番に発音しましょう。
- (2) 次に、教科書 P14・15 のアルファベット小文字を見て、順番を変えて指さしながら発音してみましょう。小文字は形が似ているものがいくつかあるので、注意しながら、指さしましょう。
- (3) 最後に、次のアルファベットを発音してみましょう。

A E I O U B V M N P Q L R

a e i o u b v m n p q l r